

概要

「ファイバースノウ」は、「シュンライ」を母とし、「東山皮86号」を父として交配・育成されました。同じ播性を持つ「ミノリムギ」より耐雪性が優れ、より早熟で精麦品質が優れた品種です。また「ミノリムギ」の精麦加工適正を改良した同じ熟期の「シュンライ」の越冬性と、粒圧分布を大きく改善した品種でもあります。

留意点

1. 耐寒性は高いが、初期生育が不足すると多収が望めず、出穂・成熟が遅れて収穫期が梅雨と重なるため、適期に播種してください。
2. 穂数確保のため越冬後の追肥を適期に行ってください。
3. うどんこ病抵抗性は「やや弱」であるので、適正防除に努めてください。

主な特長

- 出穂期は4月下旬～5月上旬、成熟期は6月上旬～中旬で、「シュンライ」と比べて1～2日程度遅いです。
- 穂長はやや長く、穂数はやや多く、稈質は“やや剛”であるため耐倒伏性は優れます。
- 耐寒性は強いです。
- 千粒重、容積重は大きく、収量性、外観品質は優れます。
- 硝子率は低く、精麦白度、色相、精麦適性は優れます。

播種量・施肥量

播種量は6kg/10a(160～180粒/m²)程度(条播)、施肥量は窒素成分で10a当たり基肥に6kg+年内追肥で3kgが目安です。



品種名	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	倒伏程度	寒害	子実収量 (kg/a)	千粒重 (g)	容積重 (g/L)	外観品質
ファイバースノウ	4.27	6.10	93	5.0	452	0.4	1.8	51.9	38.3	673	1.8
シュンライ	4.26	6.08	94	4.7	435	0.9	2.6	49.3	36.7	664	2.1

データは高冷地分場、北杜市長坂町、高根町、明野町の1997年、2002～2005年度の平均値

品種名	硝子率 %	精麦白度	色ムラ	色相		総合評価
				L*	a*	
ファイバースノウ	39.5	38.9	2.8	70.9	1.1	2.0
シュンライ	48.3	36.5	3.8	68.2	1.7	3.5

1) データは2002、2004、2005年
2) データは5%撹精麦についてA社で調査したものの平均値
3) 色ムラ、総合評価はA社の自主規格1(問題なし)、2(標準以上)、3(標準的で普通)、4(少し難点あり)、5(精麦適性なし)の5段階評価